



馬車道通信

スーパースイズの視点から **職員を育てる・チームを作る**

来年度の
チーム作りのために!

子ども・若者など
「人に関わる・支える仕事」の人のために



- 日 時：平成28年2月16日（火）
10:00~16:00
- 内 容：職員を育てる視点、助言をする・受ける（（助言≠批判）、課題の共有等
- 対 象：子ども・若者等、人に関わる業務に就くマネージャー・リーダー的役割の人
- 講 師：杉野 聖子 氏（江戸川大学総合福祉専門学校 専任講師、元京都市ユースサービス協会ユースワーカー）
- 定 員：20名（先着順）
- 費 用：1,500円
- 申込み：①講座名②氏名（ふりがな）③連絡先（TEL、E-mail）④所属等（あれば）を明記の上、TEL・FAX・E-mail でお申込み下さい。
- 会 場：横浜市青少年育成センター 第1研修室

施設利用アンケート結果のご報告

育成センターをより使いやすくするため、利用者の皆さんへのアンケートを実施しました。貴重なご意見やご要望をたくさんいただきありがとうございました。ご意見、ご要望を参考にスタッフ一同、これからも皆さんに気持ち良くご利用いただける施設を目指します。今後ともよろしくお願いします。

馬車道通信を手にとったことはありますか

- ある 28.9%
- ない 36.3%
- あることを知らなかった 17.8%
- 無回答 17.0%

育成センターを何で知りましたか

- 友人の紹介 38.7%
- 関内ホール利用時 21.8%
- HP 8.5%
- 他施設からの紹介 6.3%
- チラシ 1.4%
- 講座で来館した際 4.9%
- その他 12.7% ■無回答 5.6%

職員の対応

- とてもよかった 53.3%
- よかった 33.3%
- どちらともいえない 2.2%
- あまりよくなかった 0.0%
- よくなかった 0.0%
- 無回答 11.1%

馬車道通信で印象に残っている記事は？【複数回答可】

- 講座・研修の報告 10.3%
- 利用団体の紹介 12.3%
- 馬車道コラム・職員のつぶやき 12.9%
- 各部屋や物品の紹介 2.6%
- 相談・情報スポットの紹介 0.6%
- 無回答 61.3%

避難経路と非常灯の位置

- 両方知っている 27.4%
- 避難経路は知っている 18.5%
- 非常灯は知っている 15.6%
- 両方知らない 23.7%
- 無回答 14.8%

利用している理由

- 立地環境が良い 29.4%
- 料金が適当 28.5%
- スタッフの対応が良い 14.4%
- 施設がきれい 9.6%
- 利用手続きが簡単 9.3%
- 他の施設が取れなかった 3.0%
- 研修やイベントの情報を得やすい 0.6%
- その他 1.2% ■無回答 3.9%

利 用 者 さ ん の 広 場

～育成センター利用者さんの活動やインタビューをご紹介します！～

『近代詩歌研究会』(第2研修室・ミーティング利用)

人口に膾炙(かいしゃ)されている漢詩、和歌、短歌、俳句などの漢文を研究し、詩吟のメロディーにのせて、吟詠を楽しんでいるサークルです。お腹の底から大きな声を出すことで、有酸素運動効果があるといわれています。

【イベント】

所属している団体などの主催で、全国大会・地区大会・コンクール・研修講座など年間を通じ十数回のイベントがあり、希望に応じ参加することが出来ます。(安藤さん：雅号 岳鵬 談)

青少年のみなさんへステキなメッセージをいただきました！

高齢化社会の進むなか、
お年寄りにも比較的費用も安く
手軽に出来る吟詠なので、
若い頃から習得しておくよう
お勧め致します。



みんなで頑張ってます！
ご来場お待ちしております！

『劇団 やぶさか』19th STAGE

日時：2月19日(金)～2月21日(日)

場所：横浜 ST スポット

お問合わせ：劇団やぶさか

<http://yabusaka.main.jp/>

Twitter:@gekiyabu

あらすじ

そこは地面の下にある、小さな小さな動物たちの世界。
土の中は主に三つの階層に分かれており・・・

前売り券あり！

アポロと

馬車道 コラム Vol.38 嗚呼！憧れのジャズマンたち「ハナ肇とクレイジー・キャッツ」



先日、知り合いのジャズマンから「ハナ肇とクレイジー・キャッツ」の動画が送られてきた。＜ジャズおやじ＞が高校生だった頃、年末になると母親と有楽町にある東京宝塚劇場の「クレイ

ジー・キャッツ」のショーを見に行っていた。

テレビでは楽器から離れたコントが多かったが、生のステージでは楽器を演奏しながらコントをすることが多かった。当時ジャズに憧れていた＜ジャズおやじ＞にとっては、唯一、本来の「クレイジー・キャッツ」の面白さを楽しむことができた。一般的に「クレイジー・キャッツ」は単なるコミック・バンドと思われがちだが、メンバーひとりひとりの演奏の実力は相当なもので、元々は立派なジャズ・バンドである。

かつて「題名のない音楽会」というテレビ番組で、トロンボーンの谷啓をゲストにしたことがあった(1967.7.16.「谷啓、故郷に帰る」)。舞台のセンターマイクで谷啓がトロンボーンを吹いている。そこに司会の黛敏郎(まゆずみ としろう)がやってきて、谷を紹介しながら谷のトロンボーンの部品をひとつひとつ外していく。最後はマースピースだけになってしまうのだが、それでも谷は吹き続けているという、

彼がいかに卓越した技術の持ち主であることを証明した番組であった。因みに谷は、一時日本のビッグバンドの最高峰である「原信夫とシャープス&フラッツ」のメンバーであったこともある実力者だ。

リーダーのハナ肇は「あっと驚く、為五郎！」といったギャグが有名だが、ドラムを使ったコミックが大好きだった。特にドラムセットから始まって舞台を歩きまわりながらのドラムソロが大好きで、いつかどこかでこのソロを再現したいと思っている。

昨年の12月のビッグバンドのコンサートで、＜ジャズおやじ＞がベニー・グッドマンの「シング・シング・シング(Sing・Sing・Sing)」を演奏することになり、リハーサルの時、このハナ肇のドラムソロをやろうと画策したのだが、舞台が狭過ぎて泣く泣く断念した。

ハナ肇(ドラム)、植木等(ギター)、谷啓(トロンボーン)、安田伸(テナーサックス)、石橋エタロー(ピアノ)、桜井センリ(ピアノ)、犬塚弘(ベース)で構成された「クレイジー」だが、犬塚を除いてみな鬼籍に入ってしまった。しかし、私の頭には、彼らの演奏とジャズを絡めたコントの数々が今も思い出される。「クレイジー」こそ、＜ジャズおやじ＞の憧れのバンドマンたちだった。



<ジャズおやじ>

【お申込み/お問合わせ】※感想や情報をお寄せ下さい。

横浜市青少年育成センター TEL:045-664-6251

FAX:045-664-6254

E-mail:ikusei@yokohama-youth.jp

